



## 注目ポイント

- ✓先週は、日経平均は米中摩擦の緩和や円安、海外勢の買いを追い風にAI・半導体関連株等が主導し、史上初の5万2千円台へ上昇した。注目された日米中銀の決定会合だったが、予想通り0.25%の利下げを決定した米国では、パウエルFRB議長の会合後の会見が、「追加利下げに慎重」と評価された。また政策金利の据え置きを決定した日本では、植田日銀総裁の会見が「追加利上げに慎重」と対照的に評価され、円売りドル買いが加速。ドル円は約8か月ぶりに154円台に乗せた。
- ✓今週は、日米両国の政策スタンスから、ドル円は円安ドル高に傾きやすいが、当局の牽制発言が意識される展開が予想される。最高値を更新中の日経平均は、高値圏で利益確定売りが出やすい中、ピークを迎える決算発表を確認しながら銘柄選別色が強まり、高値もみ合いの展開を見込む。  
(門倉英司)

2025年10月27日 ~ 2025年11月3日

| 市場・指標 |     |               | 10月27日 ~ 11月3日 |        | 11月3日  | 前週末比   |       | トレンド<br>(直近2か月) |
|-------|-----|---------------|----------------|--------|--------|--------|-------|-----------------|
|       |     |               | 高値             | 安値     | 終値     | 騰落幅    | 騰落率   |                 |
| 株式    | 日本  | 日経平均<br>(円)   | 52,411         | 49,839 | 52,411 | +3,112 | +6.3% |                 |
|       | 米国  | NYダウ<br>(ドル)  | 48,041         | 47,136 | 47,337 | +130   | +0.3% |                 |
|       | ドイツ | DAX<br>(ポイント) | 24,349         | 23,923 | 24,132 | -107   | -0.4% |                 |

| 市場・指標      |     |            | 10月27日 ~ 11月3日 |       | 11月3日 | 前週末比   | トレンド<br>(直近2か月) |
|------------|-----|------------|----------------|-------|-------|--------|-----------------|
|            |     |            | 最高             | 最低    | 終値    | 変化幅(%) |                 |
| 金利<br>(国債) | 日本  | 10年<br>(%) | 1.680          | 1.640 | 1.655 | +0.000 |                 |
|            | 米国  | 10年<br>(%) | 4.12           | 3.97  | 4.11  | +0.11  |                 |
|            | ドイツ | 10年<br>(%) | 2.67           | 2.60  | 2.67  | +0.04  |                 |

| 市場・指標 |         |  | 10月27日 ~ 11月3日 |        | 11月3日  | 前週末比   | トレンド<br>(直近2か月) |
|-------|---------|--|----------------|--------|--------|--------|-----------------|
|       |         |  | 高値             | 安値     | 終値     | 変化幅(円) |                 |
| 為替    | 米ドル (円) |  | 154.45         | 151.54 | 154.20 | +1.34  |                 |
|       | ユーロ (円) |  | 178.82         | 176.64 | 177.64 | -0.13  |                 |
|       | 豪ドル (円) |  | 101.21         | 99.42  | 100.82 | +1.25  |                 |

| 市場・指標 |    |                 | 10月27日 ~ 11月3日 |       | 11月3日 | 前週末比 |       | トレンド<br>(直近2か月) |
|-------|----|-----------------|----------------|-------|-------|------|-------|-----------------|
|       |    |                 | 高値             | 安値    | 終値    | 騰落幅  | 騰落率   |                 |
| その他   | 日本 | 東証リート<br>(ポイント) | 1,984          | 1,945 | 1,962 | -4   | -0.2% |                 |
|       | 米国 | NY原油<br>(ドル)    | 62.17          | 59.64 | 60.97 | -0.5 | -0.9% |                 |
|       |    | NY金<br>(ドル)     | 4,124          | 3,901 | 4,023 | -115 | -2.8% |                 |

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

## ②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年11月4日 ~ 2025年11月7日

### 株式

高値もみ合いか

日経平均  
【予想レンジ】 51,000 円 ~ 54,000 円

- ・先週の日経平均は、前週末比3,112円上昇し、史上初の5万2千円台に到達するなど大幅続伸。米中貿易摩擦の緩和や円安進行を背景に、海外投資家の買いが強まり、AI・半導体関連株や好決算銘柄が相場を牽引。28日こそ利益確定売りで一時反落したものの、投資家の押し目買いニーズは強く、その後週末にかけて高値更新が続いた。
- ・今週の日経平均は、高値もみ合いか。国内主要企業の決算発表がピークを迎えるが、高値警戒感から利益確定売りも出やすい。トヨタ等の決算が良好ならバリュー株に物色が広がる可能性がある。一方海外半導体関連の決算内容次第ではAI・半導体関連株への投資心理が揺らぐ可能性も。その場合、個別銘柄物色の強い相場となろう。



### 金利 (国債)

もみ合いか

10年国債利回り  
【予想レンジ】 1.620 % ~ 1.690 %

- ・先週の国内金利はもみ合いに終始した。米中貿易摩擦の緩和や株高進行が、債券売り材料となる一方で、米国の利下げ決定や日銀の利上げ見送りが債券買い安心感に。大幅に上昇した株式市場に比べて、10年国債利回りは、1.64~1.68%と狭いレンジでの推移となった。
- ・今週の国内金利は、もみ合いか。先週の会合後の会見で、植田日銀総裁が「追加利上げに慎重な姿勢」であるとの大方の評価が、国内金利の低下圧力となっている。ただし今週は長期ゾーンの入札(10年国債・流動性供給)等、供給が多く金利上昇圧力に。引き続き10年国債利回りは1.6%台で方向感を探る展開となろう。



### 為替 (米ドル)

ドル強含みもみ合いか

米ドル/円  
【予想レンジ】 153.20 円 ~ 155.20 円

- ・先週のドル円は、円安ドル高が進展。FOMCでは、予想通り利下げを決定したFRBだが、パウエル議長が会見で次回(12月)以降の追加利下げに慎重な姿勢を示し、また利上げを見送った日銀は、植田総裁が利上げに慎重な姿勢を示したことが円売りドル買い材料に。約8か月ぶりに1ドル=154円台に突入すると、31日には片山財務大臣が円安を牽制する発言をしたものの、円買い戻しは限定的だった。
- ・今週のドル円は、ドル強含みもみ合いか。「米国の追加利下げ観測」そして「日本の追加利上げ観測」がともに後退していることから円安ドル高に向かいやすい状況。ただし、円安が進むと当局の口先介入が意識され相場の重しとなろう。米政府の統計公表が滞る中、5日の米ADP雇用統計(10月)には注目したい。



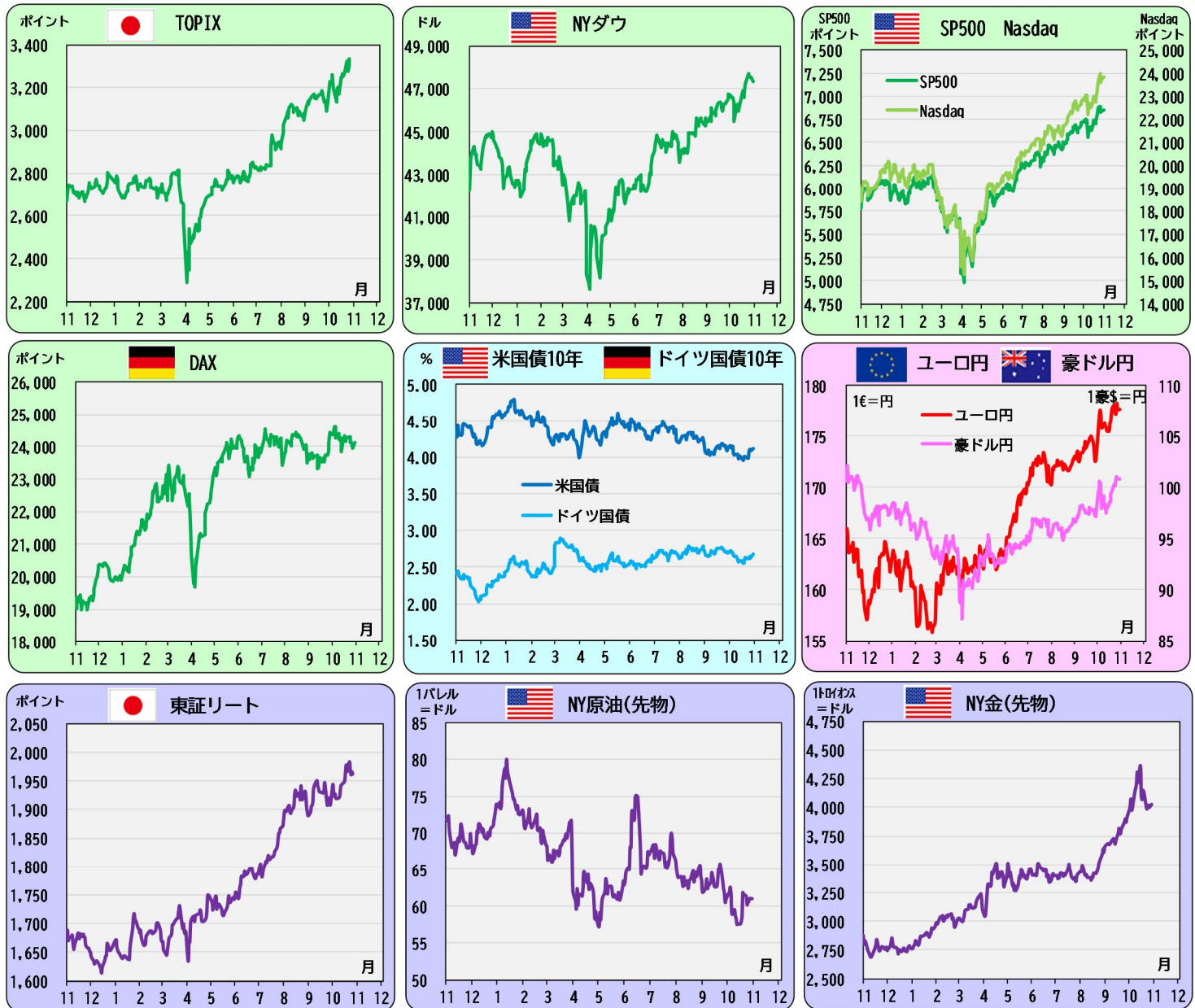
## ○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

| 月 日     | 国 内                                | 海 外                                                        |
|---------|------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 11/3(月) | 祝日(文化の日)                           | 米国: ISM製造業景況指数(10月)                                        |
| 11/4(火) |                                    | 米国: 貿易収支(9月)                                               |
| 11/5(水) | 日銀金融政策決定会合議事要旨(9月開催分)<br>国債入札(10年) | 米国: ISM非製造業景況指数(10月)<br>米国: ADP雇用統計(10月)                   |
| 11/6(木) | 毎月勤労統計(9月)                         |                                                            |
| 11/7(金) | 家計調査(9月)                           | 米国: 雇用統計(10月) 米国: 消費者信用残高(9月)<br>米国: ミシガン大学消費者態度指数(11月)速報値 |



## ③その他チャート集

直近1年間



## ※頻出英字略称用語一覧

| 略称   | 正式名称          | 略称    | 正式名称             | 略称   | 正式名称                   |
|------|---------------|-------|------------------|------|------------------------|
| ADP  | 米国の給与計算代行大手会社 | FOMC  | 米公開市場委員会         | PBR  | 株価純資産倍率                |
| AI   | 人工知能          | FRB   | 米連邦準備理事会         | PCE  | 個人消費支出                 |
| CTA  | 商品投資顧問        | FTA   | 自由貿易協定           | PER  | 株価収益率                  |
| CTFC | 米商品先物取引委員会    | GDP   | 国内総生産            | PMI  | 購買担当者景気指数              |
| CPI  | 消費者物価指数       | IMF   | 国際通貨基金           | PPI  | 卸売物価指数(生産者物価指数)        |
| ECB  | 欧州中央銀行        | IEA   | 国際エネルギー機関        | SQ   | 特別清算指数                 |
| ETF  | 上場投資信託        | ISM   | 米供給管理協会          | TPP  | 環太平洋経済連携協定             |
| EU   | 欧州連合          | OECD  | 経済協力開発機構         | WSTS | 世界半導体市場統計              |
| FDI  | 海外直接投資        | OPEC  | 石油輸出国機構          | WTI  | ウェストテキサスインターメディアート(原油) |
| FF   | フェデラルファンド     | OPEC+ | OPEC加盟国と非加盟国の枠組み |      |                        |

## ●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いします。